



いわきり もとき
岩切 基樹 さん
パラ陸上選手

キラリ!

輝く次世代の
宮崎人を応援

「練習や大会は動画で撮影。毎回フォームを確認して改善点を見つけます」と岩切さん。

最近少しずつ認知度が上がりつつあるパラスポーツ。その中で陸上の歩行・走行が可能な片まひの選手が属するT37クラスで、めきめきと頭角を現しているのが、高校3年生の岩切基樹さんです。今年8月に「第1回宮崎陸上競技協会強化記録会」でT37クラス100メートル、9月には「県高等学校陸上競技会」の同クラス200メートルで、日本新記録をマークしました。「小学生のときにウサイン・ボルト選手に憧れてから、陸上に興味を持ちました」と岩切さん。中学校から陸上を始め、中学3年生のとき初めて出場したパラ陸上の大会で好記録を出し、強化育成指定選手に選ばれました。高校2年生の2月からは西池アスリートクラブで練習を開始。そこでフォームの問題点を改善するウエートトレーニングに取り



井上寿博コーチの指導に加え、レベルの高い選手と練習することもレベルアップにつながっている。

組んだところ、伸び悩んでいたタイムも上向くように。また、毎回フォームをチェックするなど、こつこつと地道な練習を重ねたこともレベルアップにつながりました。「もっとパラ陸上に興味を持つ人が増えるといいです。ライバルが増えれば切磋琢磨できるし、自分自身の刺激にもなると思います。今後也好記録を出して自信をつけていきたい。夢は2024年のパリパラリンピックでの金メダル獲得です」と力強く語ってくれました。



自分の可能性を信じて 世界を目指す

PROFILE

宮崎学園高校3年生。2017年関東パラ陸上に出場後、中学3年生から強化育成指定選手に。その後アジアユースパラ競技大会や、世界パラ陸上競技ジュニア選手権などに参加。昨年2月から西池アスリートクラブに入り、今年8月にT37・100メートル、9月に200メートルで日本新記録。

体罰や暴言による「愛のムチ」はやめて、子どもの気持ちに寄り添っていきましょう。

子育て支援課
池宮萌絵



児童福祉法等の改正法が施行され、子どもへの体罰が法律で禁止になりました。体罰や暴言など、虐待のない社会を実現するためには、私たち一人一人が意識を変えていく必要があります。保護者が孤立しないよう、社会全体で子育て家庭を応援していきましょう。

11月は児童虐待防止月間

体罰に よらない 子育てのために



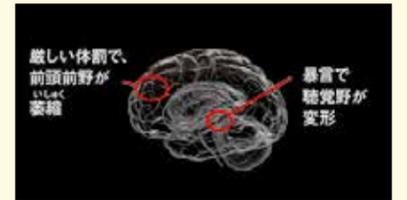
子ども虐待防止
オレンジリボン運動

注意! これらは全て体罰です!

- 言葉で何度も注意したが、言うことを聞かないので、**頬をたたいた**
- 他人の物を取ったので、**お尻をたたいた**
- 友達を殴ってケガをさせたので、**同じように子どもを殴った**
- 大切なものにいたずらをしたので、**長時間正座をさせた**
- 宿題をしなかったため、**晩ご飯を与えなかった**



体罰・暴言は子どもの脳の発達に深刻な影響を及ぼします。



- ・ 厳しい体罰により、前頭前野(社会生活に極めて重要な脳部位)の容積が19.1%減少 (Tomoda A et al., Neuroimage, 2009)
- ・ 言葉の暴力により、聴覚野(声や音を知覚する脳部位)が変形 (Tomoda A et al., Neuroimage, 2011)

提供: 福井大学 友田明美教授

“子どもとの関わり”工夫のポイント

☆「言うことを聞かない」にもいろいろあります

子どもなりに考えがあります。親の気をひきたい、言われていることを理解できていない、体調が悪いなど、その理由はさまざまです。



☆肯定文で分かりやすく、時には一緒に、お手本に

伝えるときは、「ここでは歩いてね」など、何をすべきか具体的に。落ち着いた声で伝えると、より伝わりやすくなります。



子育てに悩んだら、一人で抱え込まず、ぜひご相談ください。



子育て支援課
清宏子

子育てに悩んだらこちらにご相談を

●子育て支援課 子ども相談室
TEL:21-1766
(平日 8:30~17:15)

●児童相談所虐待対応ダイヤル
TEL:189 (いちはやく)
※お近くの児童相談所につながります。
(24時間対応、通話料無料)

虐待かも…と思ったら

問 子育て支援課 TEL21-1766 FAX27-0752